



1月(睦月)の季語 新春 初春

# 基礎教育センターだより

早いもので新年があけたと思ったら、既に、1月も終わりになります。

本年も基礎教育センタースタッフ一同、基礎的な学習のお手伝いをしたいと思っておりますので、大いに活用してください。

後期から始めた講座は、定期試験が始まりますので1月26日に終了しました。

これからの2ヶ月は、「政治経済基礎学習講座」を2回実施し、他は「個別指導」と「学習会」中心に進めたいと思います。基礎教育センターは、自習場所と学習会用の場所を区切り、より学習しやすい環境に整えて皆さんのお越しを待っています。



## 2月・3月講座のお知らせ



基礎教育センターではこの1年間、多くの講座を開催してきました。大勢の皆さんの出席を感謝します。

短時間であっても毎日の積み重ねは大きな財産だと思います。地道な努力はいつか実るでしょう。

教室で開催する講座は右記の「政治経済基礎学習講座」2回で終了します。予約はいりませんので、直接教室に来てください。3月の講座はありません。

会場 513番教室  
講座 「政治経済基礎学習講座」  
担当 櫻井義彦先生  
日時 2/24(木)、2/28(月)  
いずれも3時限 (90分間)  
※プリントの無い方は基礎教育センターに取りに来てください

## 2月・3月中の基礎教育センター常駐の先生

福嶋紀子先生 月・火・水・金曜日  
国語・社会・英語

向井純夫先生 月・火・木曜日  
数学

基礎教育センター内で個別指導と学習会をします。勉強していてわからないことがありましたら、是非、来てください。曜日で常駐の先生が異なりますので、気をつけてください。予約は不要ですので一緒に勉強しましょう。

開館時間 9時～17時まで(通常日)

## 「入学前学習用問題集」「春期課題問題集」配布状況

1月23日(日)の「入学前教育集合セミナー」で、総合経営学部と短大部の新生に「入学前学習用問題集」を配布しました。「国語・数学・社会・英語」の200問です。2月28日(月)必着の郵送で提出を依頼してあります。3月中に採点をして4月のオリエンテーションで返却したいと思います。

在校生には「春期課題問題集」を配布します。「国語・数学・社会・時事問題・英語」の200問です。学部の1・2年生全員、3年生の希望者、短大部1年生に配布します。定期試験中、貴重な時間をいただき、今後順次配布をします。締切は3月28日(月)17時ですので、開館時間内に基礎教育センター内の提出ボックスに入れてください。4月には採点をして早い時期に返却したいと思います。

3年生で問題集を希望する学生は基礎教育センターに取りに来てください。

## キャリアセンターと協力して出前講座をした感想です

昨年9月より、基礎教育センターに勤務している向井純夫です。数学を中心に皆さんを応援しています。

この12月からの2ヶ月間、短大部1年生と総合経営学部・人間健康学部2年生の数学の講義をしました。題材としては、過去の適性検査用試験や公務員初級試験問題を使いました。1学部を除いて、100人位の人数の多いクラスでしたので、やりにくい面もありましたが、私にとって、松本大学の教壇に立て、若い皆さんと一緒に勉強できたことは非常に嬉しく楽しいことでした。講義後に質問を受けて、もっと板書をはっきりすべきだったと反省することも多くありましたが、皆さんのために少しでもお手伝いできたのではないかと考えております。

また、1月までは7号館1階コモンルームでの「朝の学習講座(数学編)」を担当しました。出席者が少なかった時には、コモンルームにいる学生をその場で誘って講座を開いたこともありました。

上記の講座で数学を担当してみて、私が強調したいことは次の点です。

\* 数学の高校までの教科書は、捨てないで保管し、活用しましょう。持っていない場合は基礎教育センターにある本を活用しましょう。

その理由は、たとえば、「10以下の素数」という問題について考えてみましょう。解答は、「2, 3, 5, 7」の4つです。素数とは、1と自分自身以外で割り切れない自然数で、1は除きます。素数の定義は、中学校3年の教科書に載っています。このように、数学のことは厳密で、その意味や基準はすべて教科書に書かれています。したがって、たとえ就職試験の問題でも、それを解くのに、どの公式や定理・命題を使ったかを教科書で確認することが大切です。いわば、数学の問題に取り組むという「競技」は、教科書に載っているルールにのっとった「競技」であることを十分に理解してほしいのです。この「競技」に多くの皆さんが参加されることを期待します。

基礎教育センターで、私の同僚であり先輩である福嶋紀子先生担当の“「漢検」のにぎわい”にあやかって、今年は「数学検定＝数検」を松本大学で実施したいと考えています。数学の愛好者に限らず、数学を基礎から勉強し直したいと考える学生の皆さんの夢を叶えるため、是非、本学を準会場に「数検」を実現しましょう。

松本大学では、学生は実に礼儀正しいと感じます。無愛想で無口の私も、廊下で会ったときは「こんにちは」と言うようになりました。これも松本大学のコンセプトである人間力の一つではないでしょうか。

## 新年度も「日本漢字能力検定試験」実施します

今年度は初の試みとして、本学を準会場として、3回実施できました。新年度も年3回実施を目指し、より多くの受験者を集めたいと考えております。それに向けた対策講座も開催する予定です。

2011年度版の「キャンパスガイド」の検定試験年間予定表にも実施日を入れます。

「受けなければ受からない」を合い言葉に、おそれずにチャレンジしましょう。

**実施予定日 6月4日(土)、11月5日(土)、2月10日(金)**

### 後期「10分間テスト」と今までの講座プリントを配架します。

今年度、「10分間テスト」は前期 NO01～NO14、後期 NO15～NO28 まで実施しました。前期の分にあわせ後期の方も基礎教育センター前のラックに配架します。ご自由にお持ちください。

わからないことは、お気軽に基礎教育センターまで質問にお越しく下さい。

## 基礎教育センターより出前講座を実施しました

観光ホスピタリティ学科 益山代利子ゼミナールⅡで「10分間テスト」の数学問題の解説をしました。

1月 7日(金)、1月13日(木)、1月21日(金)、1月28日(金)